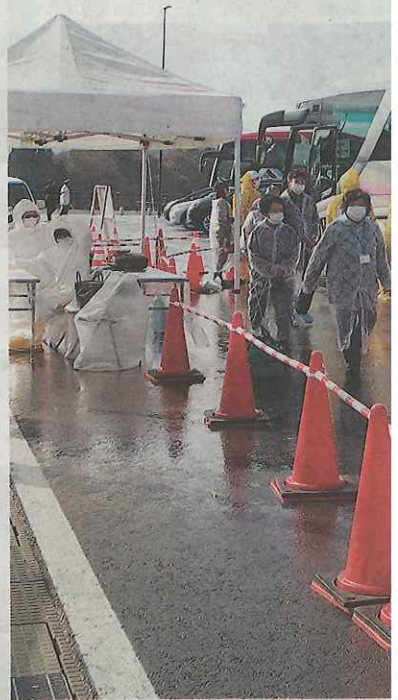


富山県境



バスを降りてス
住民ら＝七尾市

高齢者施設 移動に課題

○…志賀原発から三十キ
圏内の特別養護老人ホーム
「エレガントたつるはま」
(七尾市)と五キ圏内の特
養「はまなす園」(志賀
町)では、金沢市や白山市
に入所者を避難させる手順
を確認した。

エレガントたつるはまは
訓練に初めて参加した。午
前十時五十分ごろ、職員五
人は入所者役八人の車いす
を引いて施設を出て、福祉
車両四台に次々と乗車させ
て出発。のと里山海道経由
でかほく市内を通過し、約
一時間かけて金沢市の避難
施設に向かった。

訓練に参加した職員北原
はるみさん(五〇)は寝たきり
の高齢者など症状の重い入

所者の避難を心配し「時間
がかかることや、何度も往
復して避難することを想定
しなければいけない」と気
を引き締めた。

はまなす園では避難に使
う車両を昨年の一台中から、
救急車や福祉車両など五台
に増やした。職員たちはス
トレッチャーでの搬送や車
いすを利用し、入所者役十
六人を避難させた。

施設利用者百人の平均年
齢は九十歳と高く、八十三
人は車いすを使っている。
酢谷豊一施設長(五七)は「移
動手段として施設の所有車
両二台だけでは足りないの
で、いかに確保するかが課
題になってくる」と語っ
た。(武藤周吉、小塚泉)



角...のを...
ンコートとマスクを着用。
県内の医療機関に勤める放
射線技師らが、顔や両手足
などに放射能汚染がないか
を調べた。同地区の主婦吉
田香津代さん(六五)は「普段
は原子力や放射能のことを
意識していないので、訓練
は良い体験になった」と話

ポール形測定機 富山県が初導入

水 見

○…七尾市と県境を接す
る氷見市の十三中学校で
は、富山県が初めて導入し
たポール形の放射線測定機
で、避難車両のタイヤにつ
いた放射線を測った。

タイヤには地面に沈着し
た放射線が付きやすく、ポ
ールはゲートのように車の
両脇に立ち、汚染の有無を
ランプの点灯で知らせる仕
組み。ゲートを通った後
も、県職員が手に持った放
射線測定機でワイパーなど
車体部分を検査した。

氷見市碓石、余川西地区
の自家用車やバス約二十台

○…志賀原発から五キ圏
内の志賀町福浦港では、道
路の寸断を想定し、自衛隊
のヘリコプターや特殊車両
が出動したほか、国土交通
省の港湾業務艇「わかな」
を使い、陸海空での避難手
段を確認した。

た。福浦港の自営業佐藤忍
さん(五〇)は、「きょうは良
かったが、波の高い冬場に
船が出せるのか」と心配す
る点を挙げた。今回は待機
していたバスに乗り込んだ
が、「バスとの時間がずれ
て長く待たされると不安に
もなる。バス時間と折り合
いがつけないが」と語っ
た。

(小塚泉)



タイヤの放射線を測るポ
ール形の測定機＝富山県
氷見市の十三中学校で